

第 121 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：平成 27 年 6 月 23 日（火） 13：30～14：35

場 所：浜田公民館図書室

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局 山本部長 横田次長（教育総務課長）佐々木課長 滝本室長（欠席）

山根課長 島田館長 長見所長 渡邊課長 小田室長

大崎分室長（欠席） 栗栖分室長（欠席） 森下分室長 吉野分室長
（欠席）

書記：小林係長 日ノ原主任主事

議事

1 教育長報告

2 議題

(1) 浜田市社会教育委員の選任について

3 部長・次長・課長等報告事項

4 その他

(1) 平成 27 年度島根県市長村教育委員会連合会総会並びに研修会について

1 教育長報告

石本教育長

① 5 月 21 日（木）浜田市小体連陸上大会

出張の為、失礼をした。当日は、6 種目で大会新記録が出たという話を聞いた。6 種目はすごい事で、子どもたちよく頑張ったと思う。子どもたちは学校行事やイベント、大会を経ていく毎に成長をしているのではないかと思う。陸上大会を通じて自信を付けた子どもが、かなりいるのではないかと思う。

② 5 月 21 日（木）・22 日（金）第 67 回全国都市教育長協議会定期総会及び研究大会

神奈川県厚木市にて行われ、出席した。報告の最後のところでお話したい。

③ 5 月 22 日（金）『長沢公民館早期建設に関する要望書』の提出

長沢町まちづくり推進委員会の会長、長沢自治公民館の館長の連名で要望書を提出された。公民館の整備については教育委員会としても大きな課題の 1 つである。社会教育委員の中にも浜田公民館、石見公民館はあまりにもエリアが広く人口も多いので、まちづくりを進める上においては少し分けてというか、

新たな公民館をその区域の中に作ること、それもなかなか難しいことであるが提言をいただいた。今後まちづくりを公民館主体としてやっていくのか、コミュニティーセンター化ということは市長部局と教育委員会で相談し、方向性を今年度中に出したいと考えている。

④ 5月27日（水）島根県教育委員会教育施策説明会

校長方を対象にした説明会だった。各教育委員会の課長がそれぞれ各課で担当している行政施策の説明を1日かけて行うが、その中で藤原教育長が1時間講話をされた。私もその講話を聞いた。県の教育委員会が考えている方針を前段部分で話されたが、最後の所で3つの点についてお願いをするということで話をされた。

- (1) 明るく楽しく仕事をしてほしい。何でも言いやすい職場づくり。そういった環境を作るのが第一であり、先生方が明るく元気でないと子どもたちも明るく元気には育つことが出来ないという話であった。何でも言える職場環境づくりは、学校の危機管理にも直結する事になる。
- (2) 学校現場にはたくさんの課題がある。そういった中で、自分一人で悩むことはしないように、職場全体で、チームで仕事をするということを先生方に話をして、そういう体制を作って欲しいという話だった。教職員人事評価システムの面接の中で、校長、教頭の目標の中にも組織で対応するという事を挙げている先生もたくさんおられる。そういった意味では藤原教育長が言われたこの点については、かなり浸透していると思った。
- (3) 児童、生徒に何でも良いので1つだけ、他の人に負けないものを身につけるという教育をしてほしいというような話があった。なかなか難しい事だと思う。本人の努力もないとそういった事もできないので難しいと思ったが、1つの分野について、この事はクラスで1番なのだというものを身に付ければ、全ての面で自信に繋がるという話をされた。なぜ藤原教育長はそういった話をされたのかなと考えたとき、藤原教育長はずっとソフトテニスをやっておられ、昨年度も55歳以上の部で全山陰チャンピオンであった。一芸に秀でるといえるか、そういったものがあれば、すべて自信になるということが言いたかったのではないかと思った。

- ⑤ 6月1日（月）市議会定例会・提案説明、全員協議会
これについては、後程、部長の方から報告がある。
提案説明から始まり、一般質問が4日間あり、議案質疑、委員会、最終的には6月19日までであった。大変長い6月議会であった。
- ⑥ 6月4日（木）浜田市中学校総合体育大会・陸上競技開会式
藤本委員と一緒に開会式に出席した。
- ⑦ 6月7日（日）第12回どろんこバレーボール大会
周布公民館、周布自治会、周布の色々な団体が実行委員会を組織して行う大会である。大変人気のあるイベントであり、52チームの参加があった。60チームを超える年もあり、松江のチームも参加するような大変人気のある大会であったが、会場（田んぼ）の都合もあり、今年度で終了する。皆さん残念がっておられた。他に適地の田んぼがないとのこと。どろんこバレーは今年度で終わるが、来年度以降は別のイベントを行い周布地区を盛り上げたいと地元の方は言うておられた。
- ⑧ 6月10日（水）浜田市中学校総合体育大会・バスケットボール競技開会式
開会式に出席した。
- ⑨ 6月10日（水）ワークくわの木金城第2事業所佐野神楽工房・内覧会
旧佐野小学校の1階部分は石見公民館佐野分館が使用しているが、2階は空いていた。桑の木園は神楽の道具を作る事業を行っている。その工房が入るということで、整備を行い、内覧会が行われた。正式には7月1日から使用されるということだが、もう既に使用して作業をしておられる。空き校舎をこのように活用いただき、最終的には地域雇用も計画したいということで地域の方も喜んでおられる。同様に、今年度に入り旧後野小学校もIT企業が入った。
廃校になった後の校舎の活用は大きな課題であるが徐々に埋まりつつある。
- ⑩ 6月10日（水）浜田市教育文化振興事業団理事会
年に3、4回行われる。直接文化振興財団の事業に関わる質問ではなかったが、その他の質問の中である理事から昔に比べて学校での文化芸術教育活動が減っているといった教育関係者からの声があったが現状はどうかという質問があった。その

方は文化芸術活動に力を注いでおられ、今も活動をしておられる方なので寂しいものがあつたのかもしれない。教育委員会としても文化庁の協力をいただきながら色々な巡回公演事業を今年度も行っている。今年は能や人形劇をプロが来て行うということを予定している事や近年はスクールコンサート等も行っている。昨年は地域創造という団体が、石央文化ホールでコンサートをされる前にアウトリーチということで各学校を回り、サクスの四重奏を行ったりしている。そういった活動も行っているが、そういった意見があるということは真摯に受け止め、検討しますと回答した。

⑪ 6月11日（木）浜田亀山ライオンズクラブ認証40周年記念・特別講演会

昨年度、ノーベル物理学賞を受賞された天野浩氏の、奥様が浜田市出身というご縁で講演を行われた。60分くらいの講演で、内容はノーベル賞授賞式時の珍しい体験等の話だった。最後の所で、高校生が質問をするというコーナーがあり、色々な実験をされた中で何千回も失敗をしたのに諦めず研究を続けられたのはどういった理由かという質問をした。天野先生は、成功のイメージを常に持ちながら取り組むということ、その失敗の過程を楽しみながら取り組むという話をされた。世界的に評価されるような発明や新しいものを作る事は20歳～35歳ぐらいまででないと出来ないと話された。今回、LEDの発光ダイオードの関係でノーベル賞をもらわれたが、その基礎となる発見は大学院の時代に発明、実験は成功しておられたということだった。地道な努力も年をとってからだに難しいということのようであった。若い人に期待をしているとお話をされていた。懇親会でもお話をしたが、気さくな方だった。穏やかでにこにこしている方だった。家では奥様に頭が上がらないということであった。奥様は学校教育課長と中・高の同級生である。

⑫ 6月16日（火）平成28年度全国高等学校総合体育大会浜田市実行委員会設立総会及び第1回総会

会長は久保田市長、副会長は副市長、体操連盟福田会長、浜田市体育協会岡本会長、浜田高等学校長、私の全員で6人位の方が居られ、会が設立された。来年の大会が無事に行われるように今から準備が行われていく。早速、陸上競技中国大会が松江市で行われたが、食中毒が発生したという報道があつた。山

陰中央新報より、浜田市としてはどういった対応をされるかという問い合わせがあった。これから、そういった対応についてはしっかりとした取り決めをしていくということである。万全な態勢で大会を迎えたいと思っている。選手、監督だけで 900 人位、応援の方を含めると 2,000 人位の方が集まる大会である。

⑬ 6月21日（日）浜田市PTA連合会研修大会

委員の皆さんにも出席いただいた。私は、全日本同和会島根県連合会へ出席した為、今年はず席した。代理で出席した山本部長に話を聞くと、大変良い講師先生でお話も素晴らしかったということであった。是非、保護者、教員も学校でも取り組むことができる部分については取り組んでほしいということであった。

全国大会に出席したとき、文部科学省が色々な資料を配布されて説明をされた。新しい時代の教育という事で文部科学省が力を入れている事で挙げられた項目が次の8点あった。

- (1) 教育委員会制度の改正
- (2) コミュニティースクール
- (3) 小中一貫教育
- (4) 学校統廃合の関係
- (5) チーム学校
- (6) 教員の資質向上
- (7) 高等教育の改革
- (8) 教育課程の改善

その中で私が一番気になったコミュニティースクールについて、議会でも質問がある部分である。全て説明する時間はないが、後日協議の時間を作りたい。本日は、簡単にお話をしたい。

ページ13「地域とともにある学校づくり」の必要性について、子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、社会総掛かりでの教育の実現が不可欠であるということで、すべての学校が、地域の人々と目標を共有した上で、地域と一体となって子どもたちをはぐくむ『地域とともにある学校』を目指すべきと、コミュニティースクールの説明が簡単にされている。基本的には、地域と学校の関係が都会では希薄化しているという中で、こういった発想が生まれているのだと認識している。議会の中でも、コミュニティースク

ールを導入しないのかという質問はあるが、浜田市では学校支援地域本部事業を通しながら、また地域と学校は常に密接な関係であり、良い関係は上手く築けているので、新たにこういったことに取り組まなくても文部科学省が目指している地域とともにある学校づくりは出来ているので、現時点はコミュニティースクールを導入する考えはないと答弁をしている。しかし、国の方では将来的には全ての学校でコミュニティースクールを導入したいという考えが一部ではあるようだ。現時点では、5年間で全学校の1割程度で導入をしたいという考えであるが、最終的には全ての学校で導入したいという考えである。国がこういった方向性を示しているので、浜田市教育委員会でも、現在は導入する予定はないと言っているが、色々な情報は得ながら勉強をしていく必要があるのではないかと思う。中身については知っておられる事もあるとは思いますが、また資料に目を通していただき、いつかの段階で中身について協議をしていきたい。この資料には、コミュニティースクールについて良い事ばかり書いてあり、課題等は記載がないので、そういったところは把握する必要がある。

質疑応答

藤本委員

6月21日の浜田市PTA連合会研修大会について、今までずっと出席しているが、参加者が今回非常に少なかったと強く感じた。会場は県立大学の講堂だったが、詰めて座れば半分以下であり、パラパラと散らばるような人数しかおられない。なぜ少ないのかと気になった。任意ではあるが、年々少なくなっている。小、中学校の子どもがいる保護者に聞いたところ、学校の方からはそういう話は全くなかったと言っていた。昔は、割り当てがあった。そういったことが、現在は無いようだ。そういうものがないと、今回のように少ない参加状況になるのかなと感じた。今度、学校訪問へ行く学校で質問項目に入れて先生に聞いてみたい。PTA会長は保護者だが、副会長は教頭先生ではなかったか。

石本教育長

副会長は校長先生である。

藤本委員

事務局は学校ではないか。

金本委員

教頭先生である。

藤本委員

そういう関係で、関わりは保護者の方よりそちらの方が強いのではないだろうか、どうしてされないのだろうか、割り当てをさ

石本教育長	れている所もあるのかもしれないが。非常に少なかったと思った。
花田委員 藤本委員	その事は、部長から話を聞いた。おそらく全員で100人位だったと。おそらく今年も割り当てはされていると思うが。 毎年ある。この学校何人という風に割り当てされている。 学校の校長先生、教頭先生とお会いしたが、全く見なかった学校もある。例えば、私が住んでいる地域の先生は1人も見ていない。
宇津委員	同日に人権の同和総会が行われていたので、校長先生はそちらへ出席されていたのではないかと。
石本教育長	校長先生の8割位は人権の同和総会へ出席されていた。教頭先生はPTA 連合会研修へ出席していたと思うが。
藤本委員 石本教育長 藤本委員 石本教育長	私の地域の先生は見なかった。かなりの方にはお会いしたが。たしかにPTAの文字にはティーチャーも入っているので。今回は先生も保護者も人数が少なかった。 7月10日にPTA 連合会の役員と教育委員会の意見交換会の場があるので、率直な意見を伝えていただければと思う。人集めにはPTA 連合会も苦慮されていると思うが、割り当てをされたのであれば、それぞれの学校で責任を果たしていただくようお願いをしたい。

2 議題

(1) 浜田市社会教育委員の選任について (資料1)

山根課長	社会教育法第15条の規定により社会教育委員の委嘱を求めるものである。 これはPTA 連合会の会長が変わられたことにより、前澤会長の残任期間ということで、下岡正宗会長に委嘱を求めるものである。裏面には現在の社会教育委員の名簿を載せている。よろしくお願ひしたい。
石本教育長	説明があったように、浜田市のPTA 連合会の会長が変わられたということで、それに伴う委員の選任である。質問はあるか。
質疑応答	
宇津委員 山根課長	所属の学校はどこか。 三隅中学校である。 全会一致により承認

3 部長・次長・課長等報告事項

山本部長

平成 27 年 6 月市議会定例会 個人一般質問一覧（資料 2）

22 名の方が質問され、教育委員会関係では 10 名の方が質問された。答弁書をご覧いただきたい。

串崎議員、第 3 子以降学校給食費無料化ということで、こういった考えはないということで答弁している。第 3 子以降給食費無料にすると約 1,000 万円位掛かるという試算をしている。

岡本議員、地域づくりの担い手育成を推進させる取組について、市長が答弁をされている。浜田市の各自治区がどのような取組をしているかということ答弁されている。

小川議員、平和教育について。(3) -③公民館での取組の状況、2- (1) -①小中学校における平和教育の目標、基本的な考え、位置付けて欲しいという内容であった。教育課程の中で定められたものはないので今まで通り行うということで答弁した。2- (2) -②大綱への平和教育の盛り込みについて、今後の会議の中で議論をしていくと答弁した。2- (2) -③教科書選定についての基本認識について、現在の状況について説明をしている。

柳楽議員、図書館についての質問があった。小さな子どもが本に親しめるスペースについて、現在でも幼児図書コーナーや、お話の部屋、紙芝居等を行っている。幼児から本に親しめるように行っている、来館者に対して丁寧な対応をしていくと答弁した。

道下議員、1- (2) -②子育ては地域社会全体でについて、公民館事業やふるさと郷育等で取り組んでいると答弁している。

1- (2) -③コミュニティースクールの推進について、何回か質問をしておられる。市では学校評議員やコーディネーター等があるので、今まで通り行うと答弁している。

佐々木豊治議員、公共施設再配置計画の素案が仕上がった。その中で、色々な施設の統廃合について載っている。学校給食センターの検討方針はどうかということで、素案の中では統合は示されているがどうかということであった。②では学校の統廃合、③幼稚園の民間委託ということで質問を受けている。これまでのところで答弁していた内容で答弁を行った。④では公民館施設の複合化についても質問をされている。1- (3) -③では御便殿に投入されたコストの累計についても質問があった。3-①特色のある教育による学力向上について質問があり、

学力向上の取組を説明している。

西村議員、学校給食の統廃合について、①から③まで質問があった。今年度中に、実施計画を策定するという事で答弁をしている。(3) -①再配置計画(素案)と市の方針との整合性について、幼稚園についても質問が出ている。②民間移管に関する議論の状況及び今後のスケジュールも幼稚園について質問があり、統合幼稚園の建設を含め、引き続き検討をしていくという事で答弁している。

笹田議員、海洋教育に取り組んではどうかということで、①から④の所まで、浜田市として海に面しているのだからこれからは重要なのではないかとということで、④の所で海洋教育に関する教育課程特例校を文部科学省に申請してはどうかということで、今後調査、研究を行うと答弁。市長、教育長にも再質問をされ、十分な検討をしていくと答弁をしている。

澁谷議員、いじめについての質問があった。①いじめに負けない強い心の育成、②嫌なことを嫌だと表現できる子どもを育てる相談体制の構築、③ネットいじめの現状と対策について質問があった。④のところで学校統合の考え方という事で、子どもが減っていくので、地域が寂れるという観点で考えるべきという質問があった。⑤教育予算の確保について、学校にはなかなかお金の入りが少なく、教育指導書が一人一人に手渡っていないので教育予算を確保してもらいたいということであった。

野藤議員、(1) コミュニティスクールについて質問があったので、道下議員と同様の答弁をした。(2) 子どもの貧困について、(3) 学校給食食べ残しの状況、②食べ残しの最終処分状況について、③食物アレルギーについての質問があった。

上野議員、学校給食センターの地産地消の現状の取組について質問があった。

横田次長

行事等予定表(6月23日～7月31日)(資料3)

この中に日付、時間等を記載しているが、教育委員の皆様には出席いただく行事については○印を付けている。6月30日から学校訪問、7月2日、7月6日、7月7日、7月10日、7月13日ということですのでよろしくお願いしたい。各行事等、こういった形で予定している。よろしくお願いしたい。

佐々木課長

久保田市長が、小学校で授業をされる予定。6月29日(月)5時間目の授業ということで、14時～15時の予定である。国府小

学校の2階会議室で5、6年生の児童115名を対象として、「なぜ勉強をするのか」というテーマで授業をすることとなっているので情報提供させていただく。

山根課長(代) 小林係長

① ～土曜学習支援～マナビィはまだ(資料4)

平成27年度の実施計画が固まったので皆様に報告する。主な変更点として、会場を1か所から3か所に増やした。校長会で話を進めた結果、箇所数の増という話もあり、試行的に増やしていくことになった。場所は、中央図書館、今福公民館、周布公民館の3か所で行う予定である。開催日は7月25日～2月27日までを予定している。時間、曜日に関しては従来通り土曜日の午前中という事で変更はなかった。参加費用、対象、講師、内容については大きな変更はない。裏面をご覧ください。以前、質問等であった中の一つとして、小学生を対象にした授業の学習支援について、公民館事業として公民館が試行的に行なっている。対象の公民館は、美川公民館と国府公民館が行う予定ということで、これについては新しい取り組みである。実施がうまくいけば対象を広げることも考えられる。小学校を対象にした事業については、公民館が主体で行うと考えている。こちらについても試行を行うので、機会があれば参観いただきたい。

② 平成28年度全国高等学校総合体育大会(体操競技大会)浜田市実行委員会発足(資料5)

6月16日、市役所において総会を開催した。同日、松江でも実行委員会が発足している。役員体制については、市長を会長とし、以下副会長ということで、教育長は副会長の役職になっている。男女体操競技大会日程についてはご覧いただきたい。会場は島根県立体育館、サブ、練習会場として浜田高校体育館、金城総合体育館となっている。裏面については、実行委員会の役員名簿となっている。委員の皆様には参与という形でご参画いただくこととなっているので、よろしくお願ひしたい。

石本教育長
各委員
小林係長
石本教育長
渡邊課長

参与ということだが、文書は来ているか。

まだ来ていない。

この場で、お話をされる予定だったのだと思う。

後日、委嘱状が届くと思うのでよろしくお願ひしたい。

浜田の日本画と洋画 浜田高校ゆかりの作家たち(別紙資料)

6月6日からということで既に始まっているが、浜田の日本画と洋画ということで、2011年から3か年掛けて市内の美術品悉皆調査を行った。また、その時の成果として浜田高校にも所蔵されており、そういう方々の協力を得て、浜田出身の著名な画家の先生方の作品を期間中7月12日まで展示を行っている。裏面にはイベント等終了しているものもあるが、掲載しているのでご覧いただきたい。

森下分室長

① 杵束公民館まつり～泥おとし～（資料6）

毎年5月の後半に田植えが一段落した時期に、泥落としという名目で公民館まつりを杵束公民館で行っている。今回も、2つの田ばやし保存会、昭和の農具を使った競技として、大足（オオアセ）を使用して競争をしたり、えぶりでペットボトルのキャップを押してゴールまで辿り着くという子ども向けのイベントをされた。約200名の来場者の方と盛り上がる事が出来たという事だった。

② 郷土史資料本「矢懸の里」の出版について（資料7）

山陰中央新報にて5月27日に掲載されたが、合併前の平成15年に安城公民館生涯学習サークル「ふるさと伝承同好会」ということで発足し、お亡くなりになられた方も居られるが、当時会員19名で色々な昔の歴史の資料をしたためて少しずつ記録に残していたものが、今回記録がまとまり、矢懸の里（集落編、生活編）という形で全2巻100部を発行するに至った。弥栄の中でも、安城地区に限られたことだが、色々な歴史的な事が詰め込まれており、楽しく読める本に仕上がっている。

石本教育長

資料があるものについて報告をしていただいたが、資料のない所で報告事項はあるか。

事務局

報告事項なし

質疑応答

宇津委員

土曜学習支援について、昨年度に比べて1箇所から3箇所に増やし、子どもたちにとってはありがたいことだと思う。しかし、指導者の先生方を確保出来るのかという事が気になる。その辺りも見込みも踏まえて、踏み切っておられるとは思いますが。指導者の確保に関してはご苦労があるのではないかと。

佐々木課長

現段階では十分とは言い切れないが、出来るだけ多くの方に

石本教育長	声掛けをして、昨年より多くの講師を確保したいと考えている。 昨年の例でいくと、多くの県大生がいた。生徒が少ない時は生徒と指導者の数が同じくらい的时候もあったので、多少分散されても大丈夫ではないかと思う。
石本教育長 森下分室長	矢懸とは、地域か何かの名前か。 その昔、そこに城があったということから、城の名前から付いた。
石本教育長	子ども美術館の展覧会はすべて浜田高校にあった絵であるというわけではないのか。
渡邊課長	そうではない。
石本教育長	浜田高校にゆかりがあるということか。
渡邊課長	そうである。
石本教育長	浜田高校からかなり絵を借りているのか。
渡邊課長	そうである。
石本教育長	教育委員会の学校訪問も残っているので引き続きよろしくお願ひしたい。
	県総体の関係で、7月18日、25日が開会式の日程。体操競技が7月18日～20日。柔道は7月25日、26日に開催される。また、時間が空いていれば観戦へ行ってもらいたい。
	報告事項に対しての質問等はよろしいか。
各委員	質問事項なし。

4 その他

小林係長	① 平成 27 年度島根県市町村教育委員会連合会総会並びに研修会開催事項（資料 8） 以前、お話ししていた7月9日に行われる島根県市町村教育委員会連合会総会及び研修会の概要、開催要項の送付があったのでお知らせをする。教育委員の皆様は、13時からの総会の後、研修会に出席していただく。文部科学大臣補佐官の鈴木寛氏が講演をされる予定なので、それぞれ出席をお願いしたい。移動については公用車で移動を考えている。当日は8時30分に東分庁舎前駐車場へ集合していただき、出発とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。帰着予定は、概ね会終了後、17時40分頃を予定している。
石本教育長 小林係長	8時30分に出発して11時頃には着くという予定であるか。 11時までには着く予定である。

石本教育長
小林係長
石本教育長

藤本委員と私は 11 時からの会議に出席するということか。
そうである。

では、各委員のお昼の時間等の時間調整をお願いしたい。

この講師の鈴木寛氏は、とても有名な方で、大学の教授等もやっておられ、国会議員の時には文部科学省副大臣になられた方である。補佐官という役職は普通は多分ないが、文部科学大臣が鈴木氏にアドバイスをいただきたいということで、大臣が任命されている。雲南市の土江教育長が知っておられて、講演をお願いしたとの話があった。

この件は、よろしいか。

各委員

質問事項なし。

小林係長

② 議事録の関係について

事前に送らせていただいた議事録に修正等があればお知らせいただきたい。修正等なければ、議事録への署名をお願いしたい。委員の皆様、議事録について修正はあるか。

各委員

特になし。

小林係長

それでは、後程署名をお願いしたい。

次回定例会日程

定例会 7月22日(水) 13時30分から 浜田公民館第3研修室

終了 14:53